

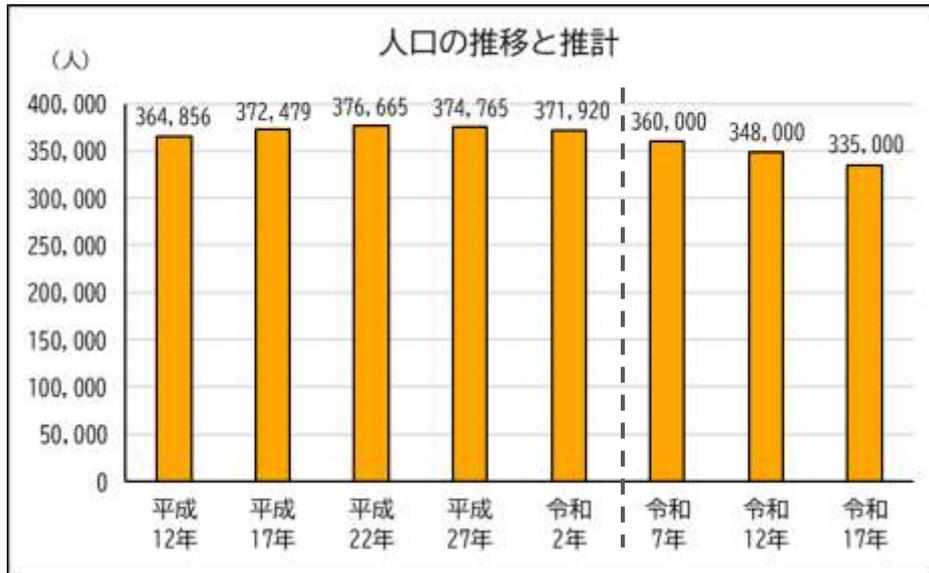
第2章 本市の地域福祉における現状

1 統計資料からみる豊橋市の現状

(1)人口・年齢別割合の推移

人口は平成22(2010)年には、376,665人に達しましたが、本市の自然動態や社会動態といった人口変動の状況を踏まえ、令和7(2025)年以降の将来人口を推計すると、令和17(2035)年には、335,000人まで減少する見込みとなっています。

年齢別の割合をみると、年少人口(0～14歳)、生産年齢人口(15～64歳)は減少し、老年人口(65歳以上)は増加傾向にあります。人口に占める高齢者の割合は今後さらに増加することが見込まれます。



※令和2年までは国勢調査の実績値。令和7年以降は第6次豊橋市総合計画後期基本計画の推計値(コーホート要因法)

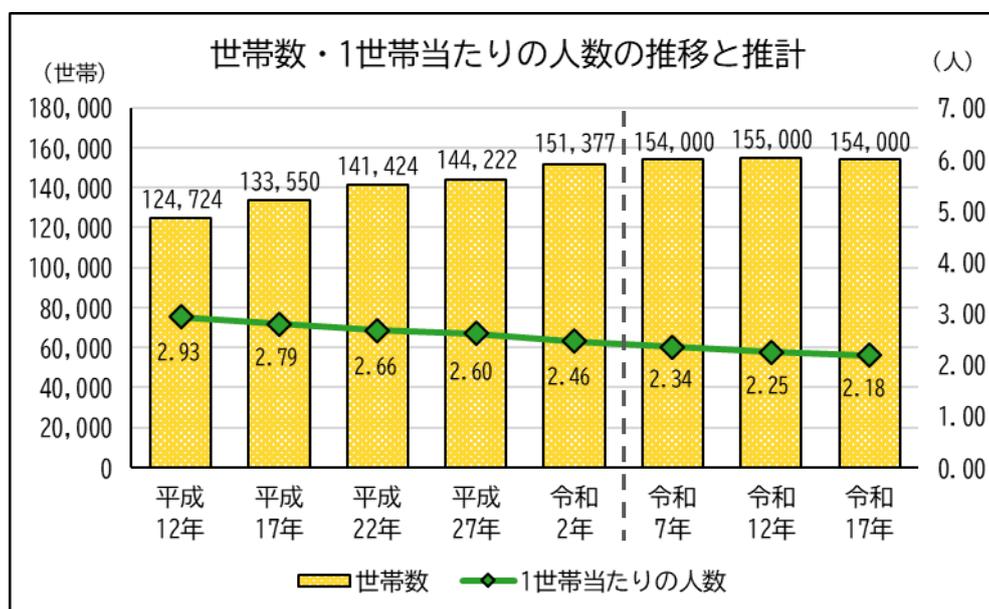


※令和2年までは国勢調査の実績値。令和7年以降は第6次豊橋市総合計画後期基本計画の推計値(コーホート要因法)

※小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、個々の値の合計が100にならない場合あり

(2)世帯の推移

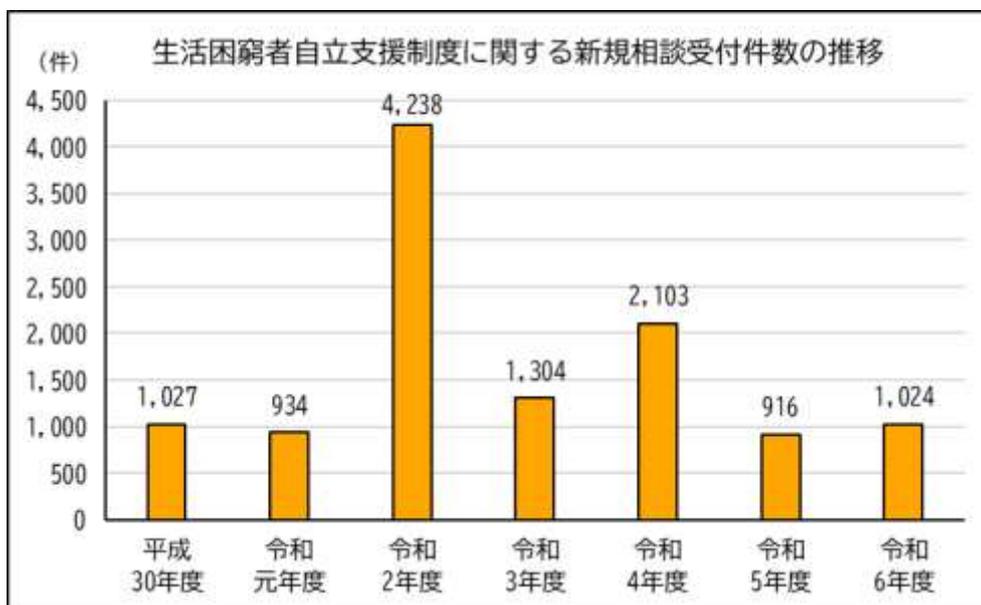
人口は減少しているものの、世帯数は年々増加しており、1世帯当たりの人数は、減少しています。令和7(2025)年以降、世帯数は横ばいとなる見込みですが、1世帯当たりの人数は減少する見込みとなり、今後も核家族化や単独世帯が増加していくと見込まれます。



※令和2年までは国勢調査の実績値。令和7年以降は第6次豊橋市総合計画後期基本計画の推計値(コーホート要因法)をもとに算出

(3)生活困窮者自立支援制度に関する新規相談件数の推移

令和2(2020)年度には、新型コロナウイルス感染症の流行による離職、休業等の増加により、新規相談件数が増加しています。令和5(2023)年度には、新型コロナウイルス感染症の流行前の相談件数と同水準となっています。



資料:豊橋市

(4)生活保護法による保護受給者数・世帯の推移

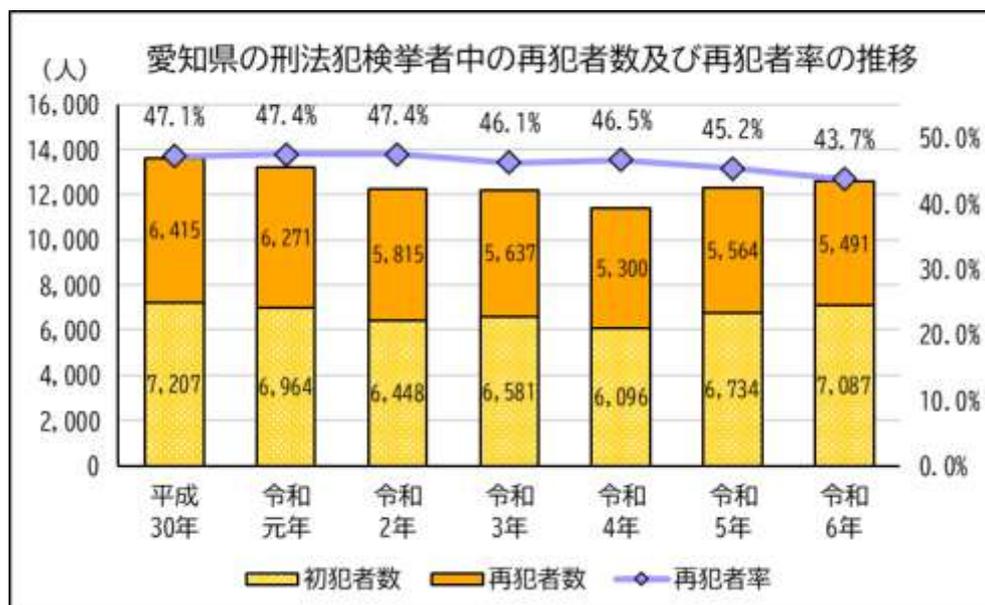
新型コロナウイルス感染症の流行による離職の増加や、コロナ関連の給付金等が終了したこと等により、令和3(2021)年度以降生活保護受給世帯数・人数が増加し、保護率も上昇しています。



資料:豊橋市

(5)再犯者数の推移

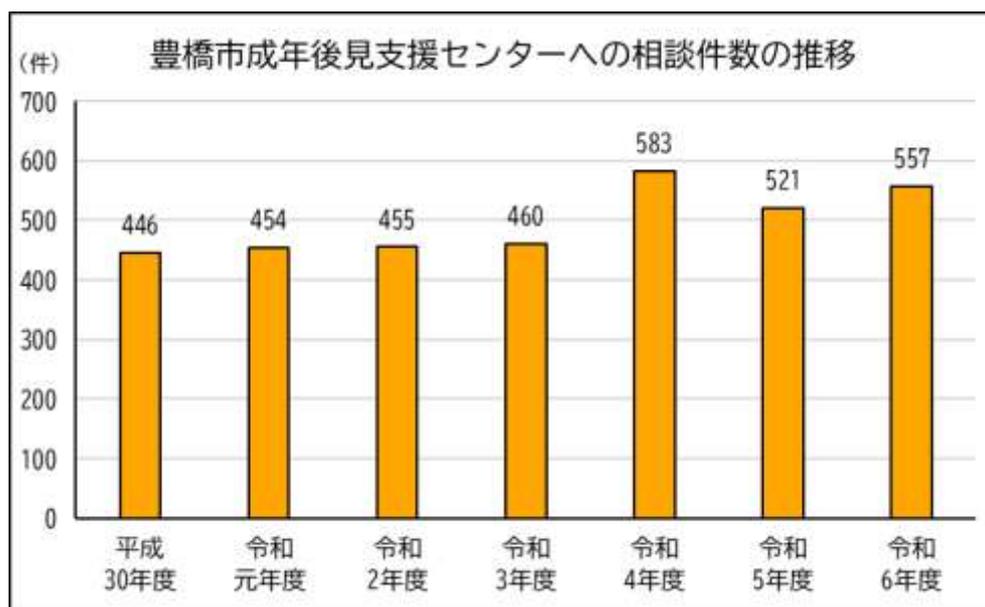
愛知県における再犯者数は、平成30(2018)年と比較して、減少しているものの、再犯者率はほぼ横ばいとなっています。



資料:愛知県警察本部

(6)成年後見制度の状況

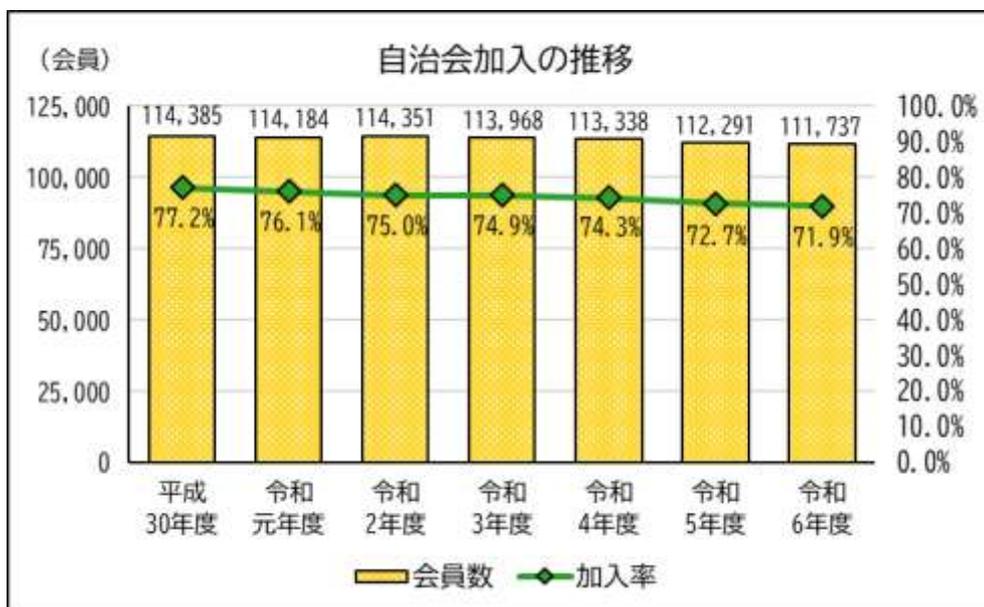
平成25(2013)年5月に開設した「豊橋市成年後見支援センター」における成年後見に関する相談件数は、平成30(2018)年度の446件から令和6(2024)年度には557件まで増加し、成年後見制度への関心が高まっていることが伺えます。また、認知症高齢者や単独世帯の高齢者、精神障害者保健福祉手帳の所持者数は、増加傾向にあり、成年後見制度の必要性がますます高まっていくことが考えられます。



資料:豊橋市

(7)自治会加入の推移

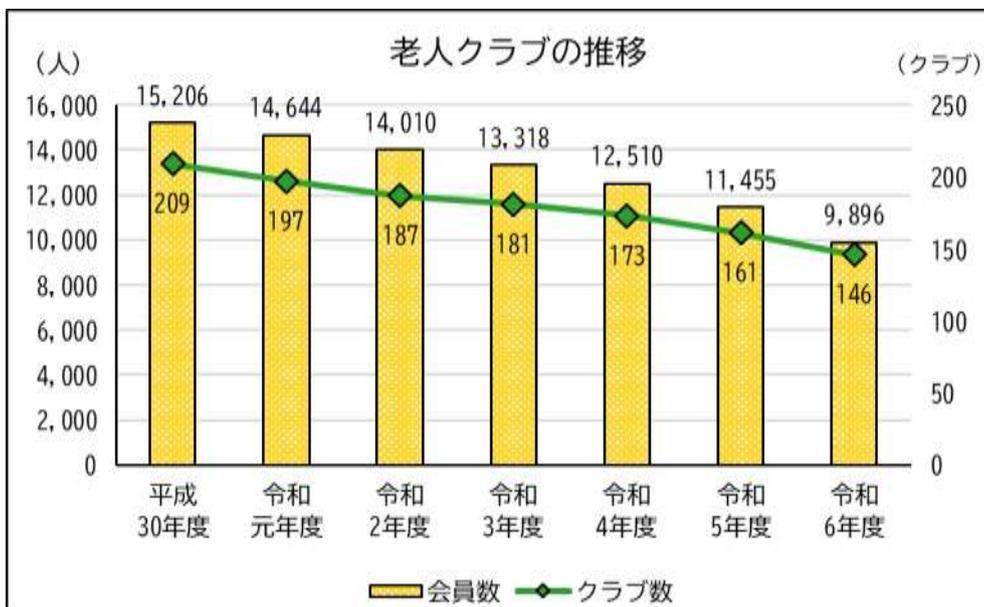
自治会の会員数は、近年においては減少傾向にあり、自治会加入率も同様に下降傾向で推移しています。単独世帯の増加など世帯構成の変化や個人のライフスタイルの多様化が影響していると考えられます。



資料:豊橋市

(8)老人クラブの推移

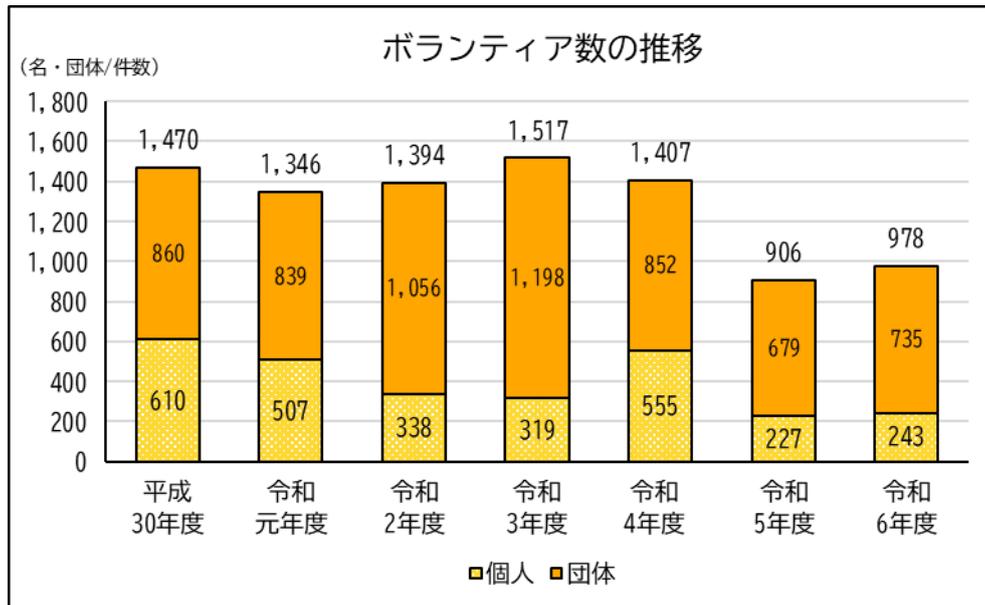
老人クラブ会員数及びクラブ数は減少傾向にあります。老年人口は増加していますが、老人クラブに加入する人は減ってきています。



資料:豊橋市

(9) ボランティア数の推移

ボランティアの数としては、年々減少してきています。特に個人でのボランティア登録をしている人が減少してきています。



資料：豊橋善意銀行・豊橋市社会福祉協議会・豊橋市